

第3回組織開発ラボラトリー

「Theory and Practice in Organization Development（組織開発の理論と実践）」

担当者	ブレンダ・ジョーンズ（NTL Instituteメンバー） 中村 和彦（南山大学人文学部心理人間学科准教授）
概要	<p>【組織開発ラボラトリーの概要】</p> <p>組織開発（OD: organization development）の源流はTグループにあります。1950年代の終わり頃より、Tグループのトレーナー達が、グループへの働きかけの知識やスキルを、企業のミーティング場面でのチーム・ビルディングに応用していったのが、組織開発の始まりでした。</p> <p>組織開発とは、組織の効果性と健全性を高めることをめざした、計画的で長期的な変革の実践であり、組織文化や人的要因（やる気や満足度、コミュニケーション、人と人との関係性、協働性、リーダーシップ、規範など）のプロセスに働きかけるための理論や手法の体系です。コーチング、ファシリテーション、チーム・ビルディング、プロセス・コンサルテーション、フューチャーサーチ、ワールドカフェ、AIなど、個別の手法として日本に紹介・導入されているものも、米国においては組織開発（OD）の歴史と体系のもとに発展してきました。組織開発の発展にはNTL Instituteのメンバー（シャイン、ベックハート、アージリス、パークなど）が貢献してきました。</p> <p>日本においてTグループを長年実施してきた当センターとして、米国における組織開発の理論と実践について「ラボラトリー」として体験から学ぶトレーニングを日本で実践することも重要なミッションであると考えています。そのミッションを実現するために、当センターでは、米国NTL Instituteとのパートナーシップに基づき、組織開発の専門家を日本に招聘して、組織開発について体験から学ぶ5泊6日のラボラトリーを開催しています。</p> <p>今年度の組織開発ラボラトリーでは、米国NTL Instituteのメンバー、ブレンダ・ジョーンズ氏をお招きし、「組織開発の理論と実践（"Theory and Practice in Organization Development"）」というタイトルで実施します。</p> <p>【今年度の組織開発ラボラトリーの概要】</p> <p>今回実施される「組織開発の理論と実践」は、NTLの「組織開発修了証プログラム（OD certificate program）」で第1ステップの研修として位置付けられているもので、組織開発の一連の流れを体験から学ぶとともに、組織開発の基礎的な理論を理解することを目指す講座です。体験から学ぶセッションと小講義からプログラムが構成される予定です。</p> <p>基本的なプログラムの構造は以下の通りです（予定）。まず、受講者は3つのグループに分かれます。1つのグループが他の1つのグループのコンサルティング・チームとなり、エントリー→データ収集→フィードバック→アクションの計画→アクションの実施→評価、という組織開発の一連のサイクルに取り組んでいきます。これは、グループレベルに働きかける組織開発の実践の体験となりますが、それと同時に、受講者全員のシステム（組織レベル）のプロセスに気づき、それに働きかける実践にも取り組みます。組織開発に関する小講義や全体での話し合い、質疑応答も随時行われます。</p> <p>組織開発の一連の流れを体験と理論から理解したい方、組織開発の実践をすでにされている方で組織開発を基本から学び直したい方、グループのプロセスに気づき、変革していく変革推進者（チェンジ・エージェント）のあり方や関わり方を学びたい方に適しています。</p> <p>【講師】</p> <p>講師のブレンダ・ジョーンズ氏は、NTL Instituteのメンバーで、組織開発コンサルタント、アメリカン大学とNTLの共同の組織開発修了プログラム（AU/NTL Masters of Science in OD）他の講師です。NTLが2006年に発行した本"The NTL Handbook of Organization Development and Change"の編者であり、また現在、NTLが主催するOD Certificate program（組織開発修了証プログラム）のコーディネーターを担当されています。</p> <p>ブレンダ・ジョーンズ氏は、NTLが実施する今回と同じ講座 "Theory and Practice in OD"を最近の数年間担当されており、このラボラトリーを実施されてきた経験も豊富です。またブレンダ氏は、海外での研修実施やコンサルティング実施の経験も多くお持ちです。</p>
日程	2012年2月20日（月）～2月25日（土）（5泊6日）
定員	21名
会場	（財）KEEP協会・清泉寮 〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里3545 ※寒い季節のため、防寒具をお持ちください。
受講料	
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 中村和彦 記</p> <p>米国よりNTL Institute代表のブレンダ・ジョーンズ氏を招聘して、2月20日(月)～2月25日(土)の5泊6日で、「組織開発の理論と実践（"Theory and Practice in Organization Development"）」の講座が行われました。この講座は、NTL Institute主催のOD certificate program（組織開発修了証プログラム）の6つの研修の中の第1ステップに位置付けられているものです。</p> <p>講座では、まず組織開発の特徴について解説がなされました。次に、21名の参加者が4つのグループに分かれ、1つのグループが他のグループのコンサルティングをするという形での体験学習が進められました。その際、組織開発の一連の流れである、「エントリーと契約」「データ収集」「データ分析」「フィードバック」「アクション計画」「働きかけ（アクション実施）」「評価」を通して、クライアント・システムの変化成長を援助するとはどういうことかを体験から学んでいくプログラムでした。</p> <p>今回の講座を通して、私は組織開発について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今このプロセスに気づき、働きかけるアプローチであること ・クライアントと変革推進者との協働であること（その奥深さ） ・客観的で主観的なデータに基づくこと <p>などが大切であることを改めて学びました。参加者の皆さま、休憩時間も少ないハードな研修でしたが、皆さんの一生懸命な取り組みに感謝申し上げます。</p>